

令和 6 年 12 月 25 日 (水) 健康増進課

「野菜をもっと食べようキャンペーン」を開催します



ヤマナカ豊橋フランテ館と連携した、来店者に野菜摂取を呼びかけるキャンペーン

(概要)

日 時:令和7年1月11日(土)~2月28日(金)

内容:(1)手のひらで野菜摂取量が推定できる機器「ベジチェック®」の体験

(2) 福岡小学校・中野小学校の児童が作成したデジタルポスターの展示

(3)「スマートレシート®」のポイント付与

会 場 : ヤマナカ豊橋フランテ館(豊橋市中野町字平北88-19)野菜売り場付近

対 象 : どなたでもご参加いただけます。店舗までお越しください。

主 催 : 豊橋市保健所 健康増進課

協 賛: 株式会社ヤマナカ、東芝データ株式会社、東芝テック株式会社、

カゴメ株式会社

本事業のポイント

■ポイント1 (農業大国なのに)市民の野菜摂取量が足りていません。

■ポイント2 まちぐるみで野菜摂取を促す環境づくりに取り組んでいます。

■ポイント3 官民連携で取り組んでいます。

詳細は裏面へ

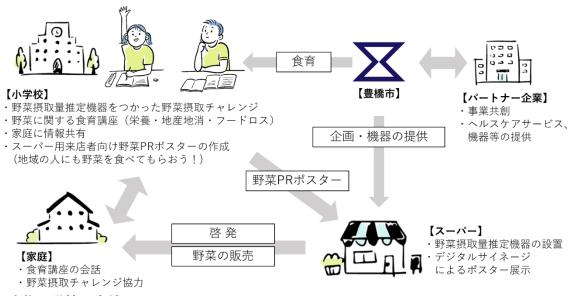
■ポイント1 (農業大国なのに)市民の野菜摂取量が足りていません。

厚生労働省の国民栄養調査では、平成24年に一日の野菜摂取量平均が県別で発表され、 全国平均の286.5gに対して、愛知県は241.5gと全国ワースト1位でした。その後も愛知 県は下位群に位置しています。

そして本市の平均は、愛知県平均と比べてさらに低い傾向にあり、本市の健康課題である 糖尿病等予防のためには、市民の野菜摂取量を増やしていくなど食生活改善が重要です。

■ポイント2 まちぐるみで野菜摂取を促す環境づくりに取り組んでいます。

市民の野菜摂取量増加のため、本市では令和5年度より小学校にて約1か月間の野菜摂取 チャレンジを実施しています。このチャレンジを起点に、小学校だけではなく地域住民に も野菜摂取を啓発する活動につなげています。(事業名:食育からはじめる食環境整備) 「食育からはじめる食環境整備事業」イメージ



<実施小学校・店舗>

令和5年度:(小学校)福岡小学校、向山小学校

(店 舗) クックマートユーアイ店、アピタ向山店

令和6年度:(小学校)福岡小学校、中野小学校、磯辺小学校 ほか9校

(店 舗)ニューライフフジ西口店、エクボスタイルあけぼの、

ヤマナカ豊橋フランテ館、クックマート飯村店、

イオン豊橋南ショッピングセンター

◆店舗に展示する児童作成ポスター(見本)



■ポイント3 官民連携で取り組んでいます。

- (1) 小学校における野菜摂取チャレンジでは「豊橋市健幸なまちづくりパートナーシップ」を締結するカゴメ株式会社と連携し、野菜摂取量が推定できる機器「ベジチェック®」を活用しています。体重計のように、野菜摂取量も現状と目標を数値化し、野菜摂取の動機付けを行うことがポイントです。
- (2) 令和6年12月に東芝データ株式会社と「豊橋市健幸なまちづくりパートナーシップ」を締結しました。東芝テック株式会社が開発、運営し、東芝データ株式会社が運営を支援している電子レシートサービス「スマートレシート®」を活用し、市民の購買行動等データの分析を通じて、今後の食環境整備の施策に反映させていくねらいがあります。

今回のヤマナカ豊橋フランテ館における取組では、キャンペーンが実際の野菜購買につながったか、野菜を購買する/しない利用者の属性や傾向はどういったものかなどを分析します。

「ベジチェック®」はカゴメ株式会社の登録商標です。/「スマートレシート®」は東芝テック株式会社の登録商標です。

◆スマートレシート® とは?





